

# おすすめします！教育学 2022

## ☆多様な座標軸から考える

教科にとらわれず、多様で柔軟な観点から、教育や学校そのものに迫ることができる。それが「教育学」です。これは「教育学」の魅力ですが、一方で分かりにくさかもしれませんね。少し説明します。

つづきは大学で、zoomで会いましょう！

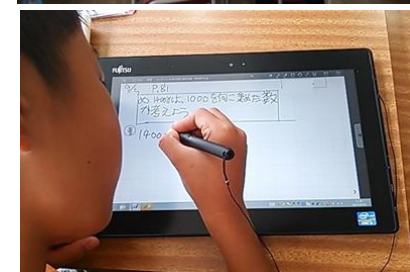


## ☆大胆に「土台」を捉え直す

コロナ禍で学校の休みや部活の制約、行事の変更を経験しました。「学校に行きたい」「運動会をやってほしい」という声が聞かれました。でもこれは本当に「みんな」の声？「学校に行かないほうがいいな」「PCのほうが自分のペースで学習できるな」「運動会で走るの嫌だったんだ」という声もあったはず。

やや大胆に「そもそも学校は、そんなにワクワクして行くような場だったか」と問い直してみることもできるのが、教育学です。みんなが行く学校って何？同じ時間に同じ内容を学習するのはなぜ？家や塾で学習するのではいけないの？どうして掃除をするの？学校以外に「みんな」や「同じ」が求められる場は？「個」は？

教科の授業をうまく行うだけでなく、教育や学校の「基礎」や「土台」の部分を理解すると、あなたはぐっと深みのある教育実践者になれるはず。



## ☆考える突破口の例

観点は自在です。1つだけでなく、2つを組み合わせた独自の観点の工夫も、あり、です。あなたの「問い」の立て方は？

- ◎哲学的に考える（考え方・見え方と意味）なぜ？
- ◎歴史学的に考える（過去・現在・未来の変化）いつ？
- ◎社会学的に考える（社会・文化と教育・学校の関係）なに？
- ◎方法学的に考える（教育の技術と内容）どう？
- ◎行政学的に考える（文部科学省・教育委員会や財政）いかに？
- ◎生涯学習学的に考える（学校の内でも外でも学べる）どこで？

## ☆問いの実現：卒業研究

個性を活かした教育  
スポーツと教育  
ボランティアの意義  
コンピューターの活用  
ジェンダーと性別役割  
地域とともにある学校  
キャリア教育  
道徳教育

異文化理解教育  
読書と教育  
対人関係 など

留学経験を活かした研究も

